

## 第5章 弁室類築造工

### 第1. 弁室類築造工

#### 1. 適用範囲

弁室類のうち、コンクリートブロック及び、レジンコンクリートブロックの弁室の築造、別途製作完成品の据付け及び上床版コンクリートブロックの取付等に適用する。

#### 2. 施工歩掛

##### (1) 弁室類（コンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

(10箇所当り)

種 別	単 位	制 水 弁 室						
		φ 200以下	φ 300 浅層埋 設用	φ 300	φ 400・ 500	φ 600以上 バタフライ弁	φ 600～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 250	φ 250	φ 500	φ 600	φ 900	φ 900
		(400kg以下)	(80kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)	(800kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
土木一般世話役	人	0.2	0.1	0.2	0.2	0.4	1.0	3.8
特殊作業員	〃	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.8
普通作業員	〃	0.1	0.2	0.1	0.1	0.6	1.3	9.0
バックホウ (クレーン機能付)	h	2.6	—	2.6	2.6	3.6	5.7	23.8
基礎砕石費率	%	18	73	18	18	18	18	4
諸雑費率	〃	2	2	2	2	2	2	1

種 別	単 位	空 気 弁 室		消 火 栓 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100(人孔無)	急速100(人孔付)	単口・双口 (浅層埋設用)	双 口		
		単口(φ 300以下)	単口(φ 400以上)	単 口		φ 500・φ 600	φ 600
		双口100	双口150				
φ 600	φ 900	(400kg以下)	(800kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)		
土木一般世話役	人	0.2	1.3	0.2	0.4	0.2	0.2
特殊作業員	〃	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
普通作業員	〃	0.1	1.7	0.1	0.6	0.1	0.1
バックホウ (クレーン機能付)	日	2.6	6.7	2.6	3.6	2.6	2.6
基礎砕石費率	%	18	18	18	18	18	18
諸雑費率	〃	2	2	2	2	2	2

(注) 1. 歩掛は、運転距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床堀、埋戻し、残土処理は含まない。

2. 基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として、計上する。

なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容はつぎのとおりである。

【基礎砕石費】 敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費

【諸雑費】 敷砂又は敷モルタル材料費

3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。

4. 基礎砕石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。

5. 撤去歩掛は据付歩掛（基礎砕石費率は除く）の50%とする。

(2) 弁室類（レジンコンクリートブロック）築造歩掛

弁室の構造及び型式は、「土木工事共通仕様書」によるものとする。

(10箇所当り)

種 別	単 位	制 水 弁 室				
		φ 300以下 浅層埋設用	φ 400・500	φ 600～900 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1000～1200 副弁内臓式 バタフライ弁	φ 1350～1500 副弁内臓式 バタフライ弁
		φ 250	φ 500	φ 900	φ 900	φ 900
		(80kg以下)	(400kg以下)	(1600kg以下)	(1600kg以下)	(4000kg以下)
土木一般世話役	人	0.1	0.2	1.0	1.0	3.8
特殊作業員	〃	0.1	0.1	0.3	0.3	0.8
普通作業員	〃	0.2	0.1	1.3	1.3	9.0
バックホウ (クレーン機能付)	h	—	2.6	5.7	5.7	23.8
基礎砕石費率	%	73	18	18	18	4
諸雑費率	〃	2	2	2	2	1

種 別	単 位	空 気 弁 室		排水栓室	洗浄栓室
		急速75～100 (人孔無)	急速100 (人孔付)	単口・双口	
		φ 600	φ 900	φ 500 φ 600	φ 600
		(400kg以下)	(2200kg以下)	(400kg以下)	(400kg以下)
土木一般世話役	人	0.2	1.3	0.2	0.2
特殊作業員	〃	0.1	0.4	0.1	0.1
普通作業員	〃	0.1	1.7	0.1	0.1
バックホウ (クレーン機能付)	日	2.6	6.7	2.6	2.6
基礎砕石費率	%	18	18	18	18
諸雑費率	〃	2	2	2	2

(注) 1. 歩掛は、運転距離30m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床堀、埋戻し、残土処理は含まない。

2. 基礎砕石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として、計上する。

なお、基礎砕石費及び諸雑費に含まれる内容はつぎのとおりである。

【基礎砕石費】 敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、砕石等材料費

【諸雑費】 敷砂又は敷モルタル材料費

3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。

4. 基礎砕石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できる。

5. 撤去歩掛は据付歩掛（基礎砕石費率は除く）の50%とする。

(3) ボックス（鉄蓋・ブロック）据付歩掛

(10基当り)

製品質量		50以上 80以下	80を超え 400以下	400を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下	1,600を超え 2,200以下	2,200を超え 4,000以下
名称	単位							
土木一般世話役	人	0.1	0.2	0.4	0.6	1.0	1.3	3.8
特殊作業員	〃	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.8
普通作業員	〃	0.2	0.1	0.6	0.9	1.3	1.7	9.0
バックホウ (クレーン機能付)	h	—	2.6	3.6	4.4	5.7	6.7	23.8

3. 機械運転費

機械名	規格	適用単価表	指定事項(参考)
バックホウ (クレーン機能付)	クローラ型クレーン機能付 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) 2.9t吊り	機-1	

(注) 適用単価表は「国土交通省土木工事標準積算基準書」による。

#### 4. (コンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位: kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
制水 弁室	φ100mm以下 浅層埋設用	28.0 (250用)	56.0(4)	33.0	—	31.0	148.0	φ75～ φ100
	φ150mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	33.0	—	31.0	120.0	φ150
	φ200mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	28.0(2)	—	—	31.0	87.0	φ200
	φ300mm 浅層埋設用	28.0 (250用)	14.0(1)	—	—	31.0	73.0	φ300
	φ75mm～150mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	70.0(2)	31.0	204.0	φ75～ φ150
	φ200mm～350mm	28.0 (250用)	42.0(3)	33.0	35.0(1)	31.0	169.0	φ200～ φ350
	φ400～φ500mm	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ400～ φ500
	φ600mm以上のバタフライ弁	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	(斜壁)600×900×450 310.0 (直壁)900×300 167.0	—	661.3	φ600～ 以上
	φ600～φ1200mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×300 363.0 (直壁)1200×600 598.0	—	1349.0	φ600～ φ1200
	φ1350～φ1500mm 副弁内臓式バタフライ弁	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1500×600 1180.0 (直壁)1500×900 1410.0	—	2978.0	φ1350～ φ500
空気 弁室	急速75 φ400～φ500mm	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ400～ φ500
	急速100 本管φ600mm以上(人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ600 以上
	急速100 本管φ800mm以上(人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×300 363.0 (直壁)1200×900 898.0	—	1649.0	φ800 以上
	単口(φ300mm以下)及び 双口100使用箇所(人孔無)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	
	単口(φ400mm以下)及び 双口150使用箇所(人孔付)	229.0 (900用)	55.0(1)	104.0	(斜壁)900×1200×600 655.0 (直壁)1200×600 598.0	—	1641.0	

(注) 調整用、中継の( )内は数量

(単位 : kg)

種別	区 分	鉄 蓋	コンクリートブロック				全体重量	適用口径
			調整用	床版	本 体 (中継)	底版		
消 火 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用 図 1-17	56.0	84.0(3)		75.0(1)	—	215.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm) 浅層埋設用 図 1-18	118.0	37.0(1)		164.0(2)	—	319.0	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	56.0	28.0(1)		150.0(2)	—	234.0	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	118.0	37.0(1)		246.0(3)	—	401.0	φ 300～ φ 600
排 水 栓 室	単口 (φ 150～φ 250mm) 浅層埋設用	74.3 (500用)	69.0(3)	51.0	—	51.0	245.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300) 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 300
	単口 (φ 150～φ 250mm)	74.3 (500用)	23.0(1)	51.0	91.0(1)	51.0	290.3	φ 150～ φ 250
	双口 (φ 300mm～600mm)	100.3 (600用)	30.0(1)	54.0	91.0(1)	51.0	326.3	φ 300～ φ 600
洗 浄 栓 室	φ 200～φ 300mm 浅層埋設用	100.3 (600用)	120.0(4)	54.0	—	51.0	325.3	φ 200～ φ 300

(注) 調整用、中継の ( ) 内は数量。

図番号は、「土木工事共通仕様書」(弁栓室類標準図集)のものである。

## 5. (レジンコンクリート) ボックスの組立標準重量

標準重量表

(単位: kg)

種別	区 分	鉄 蓋	レジンコンクリートブロック						全体重量	適用口径
			調整用	上部壁	中部壁	下部壁	上下部壁	底版		
制水弁室	φ100mm以下 浅層埋設用 図1-8、図1-9	14.8 (250用)	19.6(3)	—	—	—	17.3	13.0	64.7	φ75~ φ100
	φ150mm 浅層埋設用 図1-10	14.8 (250用)	10.6(2)	—	—	—	17.3	13.0	55.7	φ150
	φ200mm 浅層埋設用 図1-11	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	11.8	13.0	53.9	φ200
	φ300mm 浅層埋設用 図1-12	14.8 (250用)	14.3(2)	—	—	—	17.3	13.0	59.4	φ300
	φ400~φ500mm 図1-13	48.9 (500用)	47.7(3)	35.5	—	15.5	—	13.2	160.8	φ400~ φ500
	φ600~φ900mm 図1-14 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	212.5(5)	—	(斜壁)900×1200×300 (直壁)1200×600	363.0 598.0	—	—	1380	φ600~ φ900
	φ1000~φ1200mm 図1-15 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁)900×1200×450 (直壁)1200×600	510.0 598.0	—	1484.5	φ1000~ φ1200	
	φ1350~φ1500mm 図1-16 副弁内臓式バタフライ弁	206.5 (900用)	170.0(4)	—	(斜壁)900×1500×450 (直壁)1500×900	952.0 1410.0	—	2738.5	φ1350~ φ1500	
空気弁室	急速75 図1-20 φ400~φ500mm	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ400~ φ500
	急速100 図1-20 本管φ600mm以上(人孔無)	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	14.5	21.5	—	28.1	212.2	φ600 以上
	急速100 図1-19 本管φ800mm以上(人孔付)	206.5 (900用)	138.1(4)	—	(斜壁)900×1200×300 (直壁)1200×900	363.0 898.0	—	1605.6	φ800 以上	
排水栓室	単口(φ150~φ250mm) 浅層埋設用 図1-21	48.9 (500用)	31.8(2)	35.5	—	15.7	—	23.8	155.7	φ150~ φ250
	双口(φ300) 浅層埋設用 図1-22	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	21.5	—	28.1	197.7	φ300
洗浄栓室	φ200~φ300mm 浅層埋設用 図1-23	66.5 (600用)	37.4(2)	44.2	—	22.8	—	15.0	185.9	φ200~ φ300

(注) 調整用、中継の( )内は数量。

<参 考 資 料>

コンクリートブロック

1 個当り重量 (kg)

	250用	500用	600用	900用
調整用	14.0	23.0	30.0	55.0
床版用	33.0	51.0	54.0	104.0
中継用	35.0	91.0	91.0	
底版用	31.0	51.0	51.0	

1 個当り重量 (kg)

	単口	双口
消火栓用かさ上げ60	28.0	37.0
消火栓用	75.0	82.0

下水道用鉄筋製組立マンホール (J S W A S A-11) 1個当り重量 (Kg)

直壁	重量	斜壁	重量
900×300	167.0	600×900×450	310.0
1200×600	598.0	900×1200×300	363.0
1200×900	898.0	900×1200×450	510.0
1500×900	1410.0	900×1200×600	655.0
		900×1500×450	952.0
		900×1500×600	1180.0

レジンコンクリートブロック

1 個当り重量 (kg)

	種類	高さ	重量
250 用	上部壁	150	10.7
	中部壁	100	5.0
		200	7.5
		300	10.0
	下部壁	300	11.5
	上下部壁	150	11.8
		300	17.3
	底版	40	13.0
500 用	上部壁	200	35.5
	中部壁	100	11.0
		200	17.0
		300	23.5
	下部壁	200	15.7
		300	22.0
		500	34.0
	底版	40	23.8

	種類	高さ	重量
600 用	上部壁	200	44.2
	中部壁	100	14.5
		200	23.5
		300	32.5
	下部壁	200	21.5
		300	30.5
		500	47.0
	底版	40	28.1

分割底板型 1個当り重量 (Kg)

種類		高さ	重量
500用	下部壁	200	15.5
	底版	40	13.2
600用	下部壁	200	22.8
	底版版	40	15.0

調整リング 1個当り重量 (Kg)

種類	高さ	重量
250用	10mm	0.6
	30mm	1.2
	50mm	5.3
	100mm	9.0
500用	10mm	1.3
	30mm	3.8
	50mm	15.9
600用	10mm	1.5
	30mm	4.5
	50mm	18.7
900用	10mm	3.5
	30mm	10.6
	50mm	42.5